

「全国クラウド実践大賞 2023」の募集について

1. 全国クラウド実践大賞概要

全国クラウド実践大賞とは、クラウドを活用して新規事業創造、収益向上、業務効率化を実現した地域企業等の実践事例を発掘し、広めていくためのプロジェクトです。このプロジェクトに参加すると、経営方針の振り返りや対外的な発信の機会となり、身近な他社事例から学び実践することで、クラウド活用のきっかけとして、さらにはビジネス拡大の機会として活用いただけます。

「全国クラウド実践大賞」は地域企業等が、クラウドサービス活用により生産性向上・経営効率化進めた事例を表彰する「企業部門」と、クラウド活用支援事例を表彰する「支援部門」の2つで構成されています。

2. 募集要領等

【企業部門】

地域企業がクラウドサービス等を活用した業務効率化や新規事業創造事例を募集

「応募資格」		クラウド活用をしている企業等
審査基準等	自己宣言	「顧客満足度の向上」、「従業員満足度の向上」、「業務効率の改善」、「セキュリティ対策」、「マネジメントの積極的な参画」の5つの分野のチェック項目合計12点以上達成していれば、クラウドサービス活用の実践企業として自己宣言をすることができます。
	モデル事例の選出 (ヒアリング)	「有用性」、「浸透度」、「展開性」の3つの観点から審査を行い、モデル事例を選定
	プレゼンテーション	「有用性」、「浸透度」、「意義」、「展開性」、「熱意」の観点で総合評価を行い、優良モデルの選出および各賞を決定。

【応募の流れ】

9月11日(月)	「クラウド実践事例」登録受付締め切り(*)
9月下旬	クラウド実践大賞地方大会 登壇企業発表
10月	全国クラウド実践大賞 地方大会
12月	全国クラウド実践大賞全国大会

(*9月11日まで受付が延長されています)

【支援部門】

コンサルタント等が行った地域企業のクラウド活用支援事例
地域企業のクラウド支援やデジタル化支援のプログラムや事業事例

「応募資格」	クラウド活用支援をする個人や地域の企業や団体
--------	------------------------

【応募の流れ】

8月8日(火)	募集開始
10月15日(土)	申込締め切り
10月下旬	審査期間
12月	全国クラウド実践大賞 表彰式

3. 自推応募・他推応募について

【自薦応募の方】

募集対象となる地域等が自ら申込登録を行っていただきます。
窓口責任者は、申込登録を行う者の代表者又は従業員に担当していただきます。

【URL】<https://form.run/@CLOUD-INITIATIVE-2023>

【他薦応募の方】

募集対象となる地域企業等から全国クラウド実践大賞への応募を推薦する旨の了解を得た個人や企業等が申込登録を代行していただきます。
申込登録の代行する者は、申込登録フォームにおいて「パートナー」の登録(無料)をしていただきます。

【URL】 <https://form.run/@CLOUD-INITIATIVE-2023recommend>

4. 全国クラウド実践大賞に関する問い合わせ先

全国クラウド実践大賞のホームページ内のお問い合わせフォームより、お問い合わせください。

全国クラウド実践大賞のホームページ URL: <https://cloudinitiative.jp/>

5. その他

<コンテスト運営体制>

主催:クラウド実践大賞実行委員会

一般社団法人日本デジタルトランスフォーメーション推進協会【事務局】

特定非営利活動法人 IT コーディネータ協会

ノーコード推進協会

一般社団法人ライトハウス DX 支援協会

後援(申請予定分を含む):

総務省

中小企業庁

(独法)中小企業基盤整備機構

(独法)情報処理推進機構

(一財)全国地域情報化推進協会

(一社)中小企業診断協会

(一社)テレコムサービス協会

(一社)日本コンピュータシステム販売店協会

Workstyle Innovation Consortium

(一社)IT 顧問化協会

Re-Innovate Japan

全国商工会連合会